

今日のトピック インドの経済・市場動向 (2018年6月前半)

インド準備銀行が利上げ、株式、通貨は上昇、債券は下落

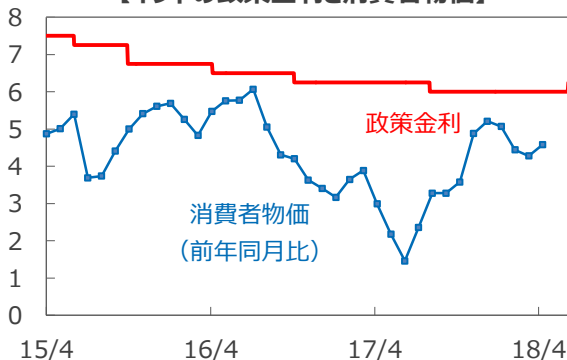
【インド市場の推移】

インド市場	基準日	騰落率または変化幅 (%)				
	6月7日	1週間	1か月	6か月	1年	
為替レート						
円/ルピー (円)	1.63	1.2	0.6	▲6.7	▲4.2	
ルピー/米ドル (ルピー)	67.13	▲0.4	▲0.0	4.0	4.4	
金利						
政策金利 (%)	6.25	0.25	0.25	0.25	0.0	
10年国債利回り (%)	7.99	0.2	0.4	0.9	1.4	
株式指数						
SENSEX指数	35,463	0.4	0.7	7.6	13.4	

(注) データは2018年6月7日基準。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

【インドの政策金利と消費者物価】



(注1) 政策金利は2015年4月1日～2018年6月7日。

(注2) 消費者物価は2015年4月～2018年4月。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント1 インド準備銀行が利上げ 4年5か月ぶりの利上げ

- インド準備銀行 (RBI) は6月6日、市場予想に反して、金融政策決定会合で政策金利を6.00%から6.25%へ引き上げました。利上げは2014年1月以来、4年5か月ぶりです。今回6人の金融政策委員全員が賛成したことも予想外でした。RBIは利上げの理由として、原油価格を中心とする投入コストの上昇によるインフレ懸念の顕在化を指摘しました。5月に一段と加速したインドルピー安も警戒したとみられます。RBIは、2018/19年度後半を中心にインフレ見通しを小幅に上方修正した一方で、中立姿勢を維持しました。

ポイント2 株式市場、通貨は上昇 債券市場は下落

- RBIの利上げを受けた6日のインド金融市場では、主要株式指数のSENSEXが+0.8%高で引けるなど株式市場は上昇しました。インドルピーも対米ドルで、+0.3%高と上昇しました。一方、債券市場は利上げの継続が懸念されて下落し、10年国債利回りが7.91%と0.07%上昇し、年初来の高水準を更新しました。

今後の展開 株式は底堅い展開、通貨安には歯止めがかかる見通し

- 現在の株式市場のバリュエーション (株価評価) は、利益成長との関係で概ね適切な範囲内と判断されます。今後は、モンスーン (雨季) の降雨量、原油価格、インフレ動向などが注目されますが、基本的にはインド経済の成長加速を背景に株式市場は底堅い展開が期待されます。
- RBIが市場の予想に反して前倒しで利上げを行ったことで、当面インドルピーの下落には歯止めがかかるとみられます。ただし、RBIは政策スタンスを中立に維持したものの、今後の金融政策は経済指標次第と考えられます。インフレが加速すれば、利上げ観測から10年国債利回りには上振れ余地があるとみられます。

ここも
チェック! 2018年6月 4日 『インドの実質GDP』は+7.7%成長
2018年5月25日 インドの経済・市場動向 (2018年5月後半)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。